

# 市政の窓



平成30年12月吉野川市議会定例会開会日(平成30年11月26日)、川真田市長は、平成30年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針について、その所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

## 当初予算編成方針

合併特例債や普通交付税の合併算定替えといった合併優遇措置を最大限に活用し、まちづくりを進める一方で、「職員数の削減」や「補助金等の整理統合」、「積極的な民間活力の導入」などにより、健全な財政運営に努めてきました。平成31年度当初予算では、市民ニーズを的確に捉えた事業の選択と集中、前例踏襲からの脱却による歳出経費の見直し、行財政改革の推進により、未来へつなぐ財政運営を意識し、編成をしていきたいと考えています。

## 「美郷ブランド」新展開

今年度から始動した「イースト

## ●保育補助者雇上強化事業

本市では、保育士のキャリアアップを図るため、これまでに民間の保育園・こども園に対し、経歴年数に応じた支援を図ってきました。

さらに、保育所などにおける保育士の負担軽減と離職防止を図るため、保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇い上げに必要な費用を県内で初めて支援することとしました。

## 福祉避難所開設訓練の実施

10月に、本市と福祉避難所として協定を締結している施設、県・市の関係部署などが参加し、福祉避難所開設訓練を鴨島地区の4施設において実施しました。今後は、今回の訓練を通して判明した課題をもとに、実施方法の検討や福祉避難所開設・運営マニュアルの見直しなどを行い、来年度には残る8施設で訓練を実施する計画です。

## 全国学校給食甲子園に出場

第13回を迎えた給食甲子園の

とくしま観光推進機構」(通称:トクしまDMO)によるモニターツアーが美郷で企画され、またフランスで開催している日本文化・芸術の祭典「ジャポニズム2018」では、美郷ブランドの梅酒が初めて紹介されます。8月の「ふるさと名物応援宣言」に引き続き、美郷がますます注目されているところであり、これらを契機とし、「美郷ブランド」のさらなる展開を図っていきます。

## 中心市街地活性化の推進、吉野川市アリーナ・交流センター(仮称)

現在、アリーナ棟の杭工事を完了し基礎工事を、交流センターは内外装の撤去を完了し、外装改修

中・四国代表施設として本市学校給食センターが選定され、東京都内で開催される決勝大会に出場することとなりました。今回の大会出場を給食従事者の大きな励みとし、今後も児童生徒に対して、安全でおいしい給食を提供していきます。

## 総合型地域スポーツクラブ設立準備

吉野川市アリーナ(仮称)の供用開始に合わせて、総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、取り組んでいます。4月に発足した設立準備委員会では、プレイベントとして、障がい者や親子また若者を対象にしたスポーツイベントを開催しました。

設立準備段階から総合型地域スポーツクラブへの理解を深めて、「誰でも」、「いつでも」、「世代を超えて」、「好きなレベルで」、「いろいろなスポーツを」楽しめる、地域住民が創る地域住民のための生涯スポーツ社会の実現を目指していきます。



11月下旬の工事現場

や内部仕上工事を行っています。また、駅前周辺整備は、駅前ロータリー・駐車場・駐輪場・市道駅東線などの基本設計に取りかかっており、年度末に完了する予定です。

## (仮称)鴨島東部地区認定こども園

屋根工事、外壁工事がほぼ完成し、現在は来年1月の完成に向け、内装工事を進めています。また、こども園に配置する保育用品などの納入業者も決定しました。

## 中央美化センター跡地多目的運動場

敷地造成工事はほぼ完了し、現在は主にフェンスやナイター設備



## 地域の個性を生かしたまちづくり

## ●中小企業者等振興基本条例

中小企業者などの振興に関する基本理念を定め、その振興に関する施策を社会全体が一体となって推進することにより、地域経済の健全な発展と市民生活の向上に寄与することを目的とした「条例」の制定に向け、準備を進めています。

来年4月1日の施行に向けて、各専門分野の有識者などで構成する委員会にて検討を重ね、本市の中小企業者を取り巻く厳しい現状を踏まえた条例素案を取りまとめたところですが、

## ●財務省四国財務局との連携協定

本市の花の魅力に着目し、「花

などの建築物等附帯工事を実施しており、来年3月末の完成に向け整備を進めています。工事を完了後、人工芝の養生期間が必要となりますので、供用開始は5月からの予定です。

## 子育てに優しいまちづくり

## ●ちびっこドームフェスティバル、はぐくみ徳島地域巡回イベント開催

今回は、徳島県内で子育て支援事業を展開している、「はぐくみ徳島」の地域巡回イベントの共催を得ての開催が決定し、NHK番組で幼児に人気のあ「はなっかっぱ」がステージを盛り上げ、より楽しい子育て支援イベントになりました。



ちびっこドームフェスティバル

で彩る吉野川市の未来「エディブルフラワー・エコシステム・チャレンジ」と題し、「REASAS(リーサス)地域経済分析システム」を活用し、「食用花」の栽培・加工・販売の可能性を探る研究を行いました。

この度、四国財務局との連携協定を新たに締結することになりました。今回の協定を契機に、本市が取り組む施策について、広域的な連携を強化し、新たな地方創生に向けて進めていきます。



四国財務局との連携協定